

2023.05.07. 神は私たちの罪を見ず、御子だけをご覧になる

第一ヨハネ 2 章 1 節から 2 節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 天のお父様、主よ、私たちは「第一ヨハネ」からのあなたの御言葉を楽しみにしています。主よ、私たちにお語りくださり、私たちの思いを研ぎ澄ませ、私たちに揺るぎない集中力をお与えくださいますか？ 主よ、また御教えをありがとうございます。J.D.牧師を感謝します。主よ、J.D.牧師に祝福とここに立つ強さを与えられ、あなたの御言葉を語らせて下さいますように。私たちはこれらのことをあなたの力強い御名、イエスの力強い御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。来てくださりとても嬉しいです。座られても、立ったままでも結構です。立ったままの方がよいかもしれませんね。神の御言葉を読む時、ご起立願いますので。今日は「第一ヨハネの手紙 2 章」を始めます。現在、一節一節読み進めていて、最初の 2 節です。なぜなのか、すぐにおわかりになるでしょう。なぜなのか、すぐにおわかりになるでしょう。オンラインでご参加の皆さんも歓迎します。第一ヨハネ、2 章 1 節から読み始めます。ヨハネが聖霊に導かれ書いていて、こう語ります。

— 1ヨハネ 2：1 —

私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。しかし、もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の前でとりなしてくださる方、義なるイエス・キリストがおられます。

— 1ヨハネ 2：2 —

この方こそ、私たちの罪のための、いや、私たちの罪だけでなく、世全体の罪のための宥めのささげ物です。

ご一緒に祈りましょう。お父様、本当に本当に御言葉をありがとうございます。今日、私たちがあなたの御言葉においてここで共に過ごすこの時間と私たちの前にあるこの 2 節に感謝します。しかし主よ、聖霊によって私たちに理解を与えられ、このたった 2 節にあるすべてを通して教え、導いて下さる必要があります。ここには、あなたが私たちに見せ、知らせ、聞かされたい、そしてより重要なのは私たちの心に留めさせられたいことがたくさんあります。

主よ、私たちはそうしたいと願い、また、そうするために聖霊が必要です。ですから、主よ、カポノが祈ったようにしていただけますか？ 主よ、どうか私たちの思いを、雑念や生活の忙しさ、ストレスから守ってくださいますように。主よ、それを寄せ付けず、遠ざけて下さい。これが、あなたの御言葉において、このあなたの教会で、私たちが共に過ごす時間だからです。あなたが私たちの中でなされたいことを阻むいかなるものも望みません。主よ、お語り下さい。あなただけがおできになるご方法で、いつも忠実であられるとおり、あの聖霊の静かな小さな御声で語って下さいませんか？ あなたのしもべたちは聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

では、今、ご着席ください。ありがとうございます。2 章のこの冒頭 2 節は、1 章からの続きです。意味深ですね。私がそう言うのは、ご存知だと思いますけど、章の区切りは、元の書簡にはなかったからです。つまり、これはいわば前の話の続きです。ヨハネは、ご想像通り、ええ、「罪」について語りました。だから、私たちが語ることは何についてでしょう？ 「罪」です。

しかし、あなたが考えるような方法ではありません。冒頭にそれを言って、また戻り、結論で話を戻します。しかしこの2節は、すべての聖典の中で最も意味深であることに間違いありません。大きく、大胆に表現するようですが、私がそう言うのは、この理由からです。私たちの罪に対する考え方は、神の罪に対するお考え方ではありません。私たちの罪に対するアプローチ、罪についての姿勢は、神が私たちの罪をご覧になるとき、そのようには見られません。神は私たちの罪をご覧になりません。神は何を見られるのか？ 神は、私たちの罪を見られず、御子だけをご覧になります。ここで見ようとしているのは、より良い言い方がみつからないので、使う言い方に気をつけますが、よく知られた決まり文句で、これはゲームチェンジャー（一変する）です。正確には、ライフチェンジャー（人生を変える）です。

今日のこの2節の教えを準備するために、私の祈りは1週間続きました。それは、私たちの罪の捉え方を変えるほどのもので、罪との関係において、私たちを変えます。ここでヨハネは聖霊に導かれ、神が私たちのすべての罪をどのように扱われるかという最重要性に焦点を当てます。神は、私たちの罪について次の3つの方法で扱われます。

1つ目は、1節の冒頭で、神は、私たちが罪を犯すことを望んでおられません。私たちは罪を犯す必要はないのです。

2つ目は、1節の後半で、私たちが罪を犯した時、神には、私たちのためにとりなして下さる方がおられます。

3つ目は、2節で、神は、私たちの罪を贖うため、御子を与えてくださいました。

それゆえ、今日のテーマ「神は私たちの罪を見られず、御子（イエス）だけをご覧になる」

それでは、1節の冒頭に入りましょう。私がこれを説明したい理由は、一読だけだと、特に、ヨハネが書いた「罪がないとは言い切れない」という言葉に照らすと、誤解するかもしれないからです。ここで初っ端、1節の冒頭で、彼は言います、

**「私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。」(1ヨハネ2:1)**

ヨハネさん、待って下さいよ。「私たちは、罪がないとは言い切れない。」と言ったばかりなのに、今は、あなたはこう書いて言いますよね。「神は私が罪を犯す事を望んでおられない。」どっちですか？ 答えは：「はい。」お付き合い下さい。これを納得できるようがんばります。ここで彼が書いているのは、神は、決して私たちが罪を犯すことを意図しておられず、御心ではあられません。こう言った方がいいかもしれません。私たちは、誘惑が指を鳴らすたびに、罪を犯す必要ありません。しかし、「もし」ではなく私たちが罪を犯す「その時」神はすでにご存知です。神は準備万端で、扱われます。それは、人なるイエス・キリストによって。今から見るように、イエスは、私たちの「とりなして下さる方」/弁護人で、でも、あなたが知っているような弁護人ではあられません。主は私たちを「とりなして下さるお方」です。まずはこのことに取り組みましょう。なぜなら、良いスタートが切れましたので。この1節の冒頭部分だけで、詳しく調べる必要がある2つのことが書かれています。翻訳で、簡単に「見逃してしまう」ことがあります。「失われる」ではありません。ヨハネが最初に言う「私の愛する子どもたち」についてです。ヨハネがこの書簡を書いたとき、おそらく100歳近くであったと信じられてることをご存知ですか？なぜそれを指摘するのか？なぜなら、彼は私たちを「私の幼子たち」と呼ぶ権利を得たと思うか

らです。(2:14以降) ヨハネは100歳近くでした。彼はそう言えますよね。しかし、単なる表現ではありません。この人物は、神の人で、息子や娘に、愛する優しい父親として語っています。「おお、私の愛する子どもたちよ。」この中にある愛情、感情を見逃さないでください。なぜなら、それを見逃すと、ヨハネがここで言うこと、聖霊が導かれ言わせられたことを理解できないからです。「罪」というテーマに関しては、最も容赦がありません。彼らに表された彼の愛、優しさは、おお、もし想像できたら、神から与えられた想像力を使って、そこにあなた自身を置いてみてください。この聖人、神の人、老いた神の人が分かるでしょう。

おそらく白髪交じりの髭で。白髪の頭髪があるかどうかはわかりませんが。髪は薄いと思いたいです。私だけかも。言ってみただけです。— (笑) — ヨハネを思い描いてみて下さい。

OK? 彼は多くの経験をしてきましたよ。考えられないような拷問を生き延びました。彼らはヨハネを殺せませんでした。ヨハネをどうしたらいいかわからなく、死ぬまで放置しようとパトモス島に流刑にしました。これは、教会歴史家によれば、彼を煮えたぎる油の大釜に入れた後のことです。それでヨハネを殺せると思ったでしょう。いいえ。なぜ?

「わたしはまだ終わっていません。彼をそこから出さない。まださせる働きがあります。」「あの男はもう80代ですよ。」「はい。まださせることがあります。彼はまだどこにも行っていません。あなたたちはまだ彼を殺せないんだから、そこから出さない。パトモス島への片道切符があるので、彼はそこでしばらく過ごすことになります。それが彼を送る場所です。しかしわたしは、彼がそこにいる間に、人としてのイエス・キリストと

終わりの時の啓示「黙示録」を与えます。」

私とその全てを詳しく言う理由は、私たち(自分も含めて)に、この人物が愛情深い人だと知らせたいからです。これが、、ヨハネは、彼の名前です。どうか、特にこのような節を読むたびに、これは単なる文書とは思わないでください。違います。聖霊に導かれ書いた人には、感動、情熱、愛があります。特にメールでは、心の声が聞こえないことがありますね。誰かがメールを送ってきて、それを読む。ただ読むだけで、それで終わり。あなたは読んだ。私が期待した通りには伝わっていませんね。— (笑) —

しかし、彼らの話し方、ボディランゲージ、目と目を合わせて話したり、腹と腹を合わせて話したりします。私たちの中には、腹と腹が目立つ人もいますが。でも、文書だけだと普段は聞こえないような事も聞こえます。この神の人の心に耳を傾けていただきたいのです。彼は人々が大好きです。彼らが大変愛しています。彼らを受しているからこそ、それを彼らに知らせたいのです。

「あなた方、私の愛する子どもたちよ、私は、あなた方にとって信仰の父親のようなものです。この地上の肉の父ではなく、そうではなく。」

ヨハネは、信仰において人々の父親で、人々はヨハネを、慈愛深い父親の模範として見えています。特に、この世で父親や父親との関係がなかった人にとって。彼らは、ヨハネのような人に目を向け、父親のような存在として、良いお手本として見ます。この人はどれほど愛があるのでしょうか。

「こんなに私を愛してくれるこの人がいる。是非聞かせて下さい。」そこが全てのポイントです。

「あなたがどれだけ親身になってくれるかを知るまでは、あなたにどれだけ知識があろうと人は(誰も)気かけないものだ。」(セオドア・ルーズベルト)とされています。

それがこのことです。さあ、これで今日私たちの前にある 箇所の様相が変わったと思いません

か？「私はあなた方をとても愛しています。」とヨハネは言うでしょう。では「罪」に関することで、あなたにお話ししたいことがあります。神は私たちが罪を犯すことを決して意図されません。本当に、罪や誘惑が指を鳴らすたびに、私たちは罪を犯す必要はありません。

私たちは決して「罪がない」にはなりません、「罪は少なく」なります。それについてお話ししたいと思います。それを最初に設定したいのです。神は、私たちが罪を犯すことを決して意図されません。この理由として、1節の後半ここでヨハネは説明します。私たちが罪を犯す時、神の御心ではありませんが、私たちが罪を犯すだろう時、神は私たちが罪を犯すことをご存知で、私たちが罪を犯したときに、私たちのために「とりなしてくださる方」があらわれます。私たちは皆、罪を犯すからです。では、この「とりなしてくださる方」について話します。神は、義で罪のないイエス・キリストをお与えになりました。イエスは、私たちの弁護人で、主は今、私たちの弁護を主張されます。再度、あなたが考える方法ではありません。

「弁護人」は、新約聖書原語のギリシャ語で「弁護人」を表す言葉として、実は適切とは言えません。ギリシャ語のパラクレートス/Parakletosで、パラキート/parakeet（インコ）ではありません。パラクレートス/Parakletosです。ギリシャ語でパラ/Para: 並んで、平行、救急隊員、法律事務員、そばにより添う...聖霊の御霊はパラクレートで、私たちに寄り添ってくださいます。私たちがイエス・キリストの救いに到達すると、その時、聖霊は、そば/para/パラにおられるだけでなく、私たちに内住されます。そして、聖霊は内住されるだけでなく、聖霊は私たちに臨まれます。ギリシャ語でエピ/epi: 「上の」「間の」私たちに満たされ、溢れさせて下さいます。

それが、聖霊の御力です。これはヨハネが私たちの「弁護人」を表現するときに使う言葉で、よりよく言えば「とりなしてくださる方」です。主はパラクレートス/弁護人であられます。私たちが罪を犯したとき、弁護のため、私たちのそばにおられます。では、私たちの弁護人として、、、辛抱してお付き合いください。イエスは、私たちが弁護し守るために永遠の法廷で世を裁かれる御父に、とりなしてくださいます。全て法廷に例えてよろしいですか？ここで嫌な思い出を持ち出したくありませんけど、この法廷の例えを使って、このことをより詳しく見ていきます。そうすれば、すぐこのことがより明確になるでしょう。しかし、理解するのに重要なことは、無罪を主張する人間の弁護士とは異なり、イエスは私たちの有罪を主張されます。

私たちは主にそうされたいのです。これをさせて下さい。再度、ご忍耐ありがとうございます。あなたには弁護士がいて、被告人です。そして、あなたは申し立てを提出します。あなたは「無罪です、裁判官。」と訴えます。そして、弁護人は、あなたが無罪だと証明するために、あなたの弁護を主張せねばなりません。イエスはそれはなさいません。イエスはその反対をなさいます。どういう意味ですか？そうではなく、イエスはこう主張されます。「彼は有罪です、裁判官。」「待って、なんだって？嫌だ！！あなたが…私の弁護人だと思いました。」「いえ、いえ、いえ、わたしはあなたをとりなすのです。あなたはわたしがとりなすのを見て、わたしにとりなしてほしいと思うでしょう。」

「はい。でも、あなたは...私が有罪だと言われます！」「はい、あなたはわたしにそうして欲しいのですよ。」「なぜ？」「なぜなら、わたしがその有罪を引き受けるから。わたしがその有罪を引き受けます。」「はい、でも私は判決を受けて、有罪が下されます。」

イエスは仰います。

「いえ、いえ、いえ、いえ。いいえ、あなたには有罪判決は下りません。わたしがあなたのためそれをします。」

それが2節で、先走らないようにしたいです。でも、ここでもうひとつ、ちょっとした情報をお伝えしたいです。これは、私たちの理解を深めるために必要で、誰にも言わないでください。

私たちをとりなしてくださる方は、裁かれる方の御子であられます。－(笑)－ 私は大丈夫！！あなたはまだ大丈夫じゃないですね。実際、あなたはシャレにならないほど罪深い存在です。しかし、法廷に座すその裁かれる方は、あなたをとりなされる方の御父であられます。

「ははは！！最高！！交渉しましょう。」「私はもうしました。」

「えー、司法取引でもするんですか？」「必要ありません。」

「では、私は有罪を申し立てるのですか？」「はい、そうです。」

「あなたは私の有罪を弁論するのですか？」「はい。」

「OK。これを見なければいけませんね。これはいい感じです。 どういう仕組みですか？」

「おお～、聞いてくれて嬉しいです。2節です。」「あなたをとりなされる方は、実際にあなたの罪を贖われる。」どういう意味ですか？ では、これを取り組みましょう。いくつかの聖書訳では、

「贖いの犠牲」を「慰め・和解」と表現しています。この単語は、私たちの日常でこんなにあまり使われる語彙ではありません。そのことでたくさんせねばなりません。残念ですけど、私たちは、ただただ呆れます。言語、語彙が劣化しているのはご存知ですね？ 恐ろしいです。ごめんなさい。本当は、ごめんなさいとは思ってませんが。この胸の内を吐いてもよろしいですか？ 昔は、完全な文構造でみんな話していました。正しいですよ？ 例外はありますが、ビジン英語、地元（ハワイ）の。それは大丈夫。それはわかります。しかし、それでもまだ少しは明瞭でした。そうすれば、私たちは知的で完全な文章で物事を言えるでしょう。ただ、すごいですよね。

そう「お会いできて、とてもうれしいです。お知り合いになれてとてもうれしいです。」

それがこう劣化してしまいました。「おい、兄弟よ！」－(爆笑)－再度、ここで、気をつけなければ.... －(笑)－

OK。この件において、ここで名誉挽回しましょう。私の息子が、何年か前の話ですが、、ある日学校から帰ってきました。私たちは車の中で、息子はこのように言いました。「おお、やべえ (Sick)」私はこんな感じで、「誰が気分悪い (Sick) なんだ？」彼はこんな風に私を見て、

「ババ、違う、ヤバい (Sick) って良いんだよ。」私はこんな風に、「イエスは間違いなくもう来られる。気分悪い (Sick) が良いの？」－(笑)－ みなさんご存知ですね。神は私たちに言語という美しい贈り物をくださいました。それを使って下さい。私たちは、大変劣化されました。ちなみに、それは意図的です。調べたことのある方のために...人を指差しているようで申し訳ないですが、そんなつもりじゃありません。あなたはこんな風に、「あ～牧師が私を見てる～～。」すみません。こっち側を見ます。皆さん、お元気ですか？ あなた方がこのことを調べたら、きっと愕然とします。意図的な計画的策略によって、基本的に、アメリカ合衆国の教育システムは、彼らは意図的に学習を破壊し、子どもたちや生徒たちを劣化させました。悲しいかな、言わせてください。これを言うのに喜びはありませんが、実がそれを証明していると思います。今の10代の若者と知的な会話をするのは難しいでしょう。もちろん、私の娘は例外です。彼女はとても明

晰です。ー（笑）ー 家族の時間には、こんな面白い会話があります。娘が話します。私はすぐそばで訂正します。1つ最も大きな訂正があるんですが、今も取り組んでいます。私は何を言いたいかよくわかるでしょう。なぜなら、あなたもこれに取り組んでいるでしょうから。特によく使われる言葉が1つあります。それは「～みたいな」という言葉です。それって「みたいな」で、それから「みたいな」で、彼らは「みたいな」で、私はみたいな....ー（爆笑）ー

わお〜！ ー（笑）ー もちろん、実演と説明の目的ですよ。私は正しいです？（会衆：はい！）つまり、私たちはもう言語がありません。神は禁じられています。もしあなたが実際に知的で完全な文章で表現し伝えたとしても、人々はどうすればいいのか分かりません。では、すでに進行中の説教に戻ります。想像出来ますか？ 誰かと会話をして、こう言う。

「イエスは私たちの罪の贖いです。」「あなたはわたしを何と呼びましたか？」いや、そうじゃない。さあ、自分に正直になりましょうね。私自身もこれに含まれます。この言葉が何かを知るために、原文を調べねばなりません。このような言葉は、私のような牧師が、とても知的に聞こえる言葉のひとつです。

「イエスは私たちの罪の贖いであられます。」「アーメン！」ハニー、『罪の贖い/贖罪』ってどういう意味？ 罪の贖い/贖罪には、神の怒りを鎮め、神の報復を避けるという意味があります。もう一度言います。

罪の贖い/贖罪には、神の怒りを鎮め、神の報復を避けるという意味があります。神の怒りを鎮め、神の報復を避けるのは誰か？ イエスが、神の怒りを鎮められます。今や私はそれを受ける受益者であり、神の報復を避けます。それが罪の贖い/贖罪の意味です。私の弁護人は裁判を満足させ、神は刑を執行するでしょう。ところで…

### 【罪の報酬は死である】（ローマ6：23）

ので、私は死の宣告を受けます。これは問題ですよ。これが私たちが一生懸命戦う理由です。もし私たちが、実に罪を罪として認め告白するなら、先週話したように、罪を別の名前で呼ばない。主は、私たちの失敗や欠点、間違いのために、贖われたのではありません。違います。何のためなのか？「罪」です。なぜなら、それを「罪」と呼ばない限り/呼ぶまでは、あなたのための罪の贖いはありません。あなたは罪の贖いがほしいですね？ 神の怒りを鎮め、神の報復を避けたい。正しいですか？ これも非常に知的な文を構成する方法ですけど、正しいですか？ もうそうは言いません。「そう！/yeah」と言います。「そう/yeah」正しいですか？ それは正しいですか？ そう、そう、それは本当、そうだね？ ー（笑）ー

OK。本当に酷かったのもう止めます。でも、ポイントは伝わったと思います。ポイントがわかったと言われれば、やめます。いいですか？OK。では、、、、ここまで大丈夫ですか？

OK。神は私たちが罪を犯すことを決して意図されません。私たちは、罪がないとは言い切れません。神は、私たちが罪を犯したときのために、とりなしてくださる方を与えられました。この与えられたとりなしてくださる方が、私たちが罪を犯すときに私たちの罪のため贖罪をしてください。罪の贖い/贖罪 この言葉について、もう一度、話します。これは、私たちが読むこれらの言葉のうちのもう1つです。はい、贖い/贖罪。アーメン！

ハニー、贖い/贖罪の意味は？ お聞きくださりうれしいです。こういう意味の言葉のひとつです、「一体となる」そう、罪は私を神から引き離します。神の怒りを鎮める贖罪の犠牲としてとりな

してくださる方がおられるとき、それは今や、私が贖われたことを意味します。私は、和解している。以前は、私は罪のために神から引き離されていたのに、私は、神と一体となっている。わお！ それいただきます。イエスがそれをなさるのですか？ 主はなさいません。主はすでになさいました。イエスが捧げられました。イエスがとりなして下さいます。イエスが裁判を鎮め、満足させ、公正な裁きをされます。どのように？なぜ？ なぜなら、イエスがその法廷に駆け入り、こう言われます。「彼の有罪を、代わりにわたしがその罰則を受けます。」裁判官は言います。「わかりました。わお！」私を見て言います。「おい君、良い知らせだ！君の負債は支払われた。君は自由だ。」「子(イエス)があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。」

### (ヨハネ 8 : 36)

私たちのとりなしてくださる方であられるイエスのおかげで、神の御怒りは宥めのささげものによって贖われました。主の犠牲は、私たちの罪のための贖いです。なぜなら、私たちの罪の代価に対する完全な支払いだからです。完済です。ええ、私たちには罪の負債があります。私の弁護人は、すでに有罪の申し立てを提出しました。主は実際に私が罪びとだと主張します。主は裁判官にそう言われ、私は恐怖で悲鳴をあげています。「あなたは、私が無罪だと神に仰ると思っていました。」「いいえ、わたしはあなたが有罪だと神に言います。あなたはその理由がわかります。なぜなら、あなたの罪の有罪と罰則をわたしが受け止め、裁判を満足させます。ですからあなたは、わたしに有罪の申し立て提出を求めますね。もし、あなたが自分の言い分を主張し、無罪を申し立てれば、その時は、わたしはあなたのために何もできません。」「なぜ？」「なぜなら、あなたは有罪だからです。」「えー、どういう意味ですか？ 私は○✕ほど悪くない。」これを言うとき、私は誰も見ないようにします。私は誰それほど悪くない。今、誰かが頭に浮かんでいると思います。

「彼らはこれを聞く必要がある！ 彼らにリンクを送ろっと。」それをしないでください。あなたがこれを聞く必要があります。私がこれを聞く必要があるんです。OK？ 再度、これが問題です。これがこの 2 つの節が人生を変える性質がある理由です。それは誇張ではなく、文字通りです。これは、当然のごとくすべてを変えます。私がこう無罪を申し立てるなら、

「そう、つまり、私は失敗しましたが、その罰則はその犯罪に不釣り合いですよ。だって、私がしたことは\_\_\_\_\_だから。」皆さん、空欄を埋めれますね。

「ええ、私はむやみに欲しがりました。それで、誹謗中傷しました。彼らを心の中で憎みました。心の中で欲を抱きました。」もちろん、私ではありません。なぜなら、牧師なので完璧です。私はあなたのことを言ってるんですよ。指差したいですが... — (笑) —

「あなたは心の中で姦淫を犯してます。」「はい、でも、よして下さいよ。」「いいえ。あなたは有罪です。」「私は律法すべて破ってませんけど。」「構いません。1つだけでもです。」私は「10の環で繋がる鎖がある」という例えが好きです。神の律法の「十戒」の表現です。10のうち...これは大げさですが、これは仮定の話です。

「10のうち、私は1つだけ破りました。」「では、あなたはその全部を破ったのです。今あなたはそれを壊したからです。ですから、あなたは有罪です。残念ですが。今、他に使いたいことは？」「えー、私はもう2度としません。」 (笑) 「そう、それはさらにいいですね。あなたは、まだ有罪です。」

ここにもう1つあります。交通の例を使いましょう。しばらく交通の例は使っていません。私が大変罪を示されるので。(会衆から笑) なぜそこで笑うんですか? では、いいですか。制限速度超過で警察官に引っ張られました。OK? あなたの前を走っていた車はあなたより速く走っていました。あなたはそのことを警官に知らせますよね。— (笑) — おお〜! 私たちはとても多くの警察の方と交わりがあります。私たちはあなた方をとても愛しています。どれも聞いたことがありますね。私たちが言うことは...いえ、もちろん「私たち」ではありません。他の教会の世俗的クリスチャンの話です。彼らはこんな意味合いのことを言います。

「ねえ、前の車は、私よりずっとスピード出していたのに、なぜ私を止めるのですか?」

「それは関係ありません。あなたが制限速度を超えてました。」「そうだけど、あの車...」「いやいやいや、あなたはルールを破りました。」「はい、でもあの車の方が...」「いやいやいや、あなたが法を破りました。制限速度を超えました。有罪です。」「はい、でも...」「いや、いや、いや」「なぜあの車を引っ張らないんですか?」「心配ご無用。他の誰かがします。私はあなたを捕まえる。あなたは有罪です。」

これが話の向かう先です。私たちは有罪であると早く理解し、受け入れることで、すぐに主が私たちの弁護に駆けつけられ、それを償われ、贖われ、支払ってくださいます。あなたが罰則があることを認めないのに、どうして代償が支払えますか? それもうまく伝わってませんね。

あなたがそう認めないなら、神の赦しの恵みの範囲と領域から完全に外れます。これが私たちの罪との闘いですよね。私たちは常に、自分の罪を最も好ましい光で照らします。私たちは罪を色塗りしたり、柔らかくしたり、抑えたり、手を加えたり、少しマッサージしたり、口紅を塗ったり...行き過ぎましたか? たぶんね。私たちはそれを実際よりもよりよくしたいのです。はい、それをしないでください。自分のためにならないことをしています。あなた自身に危険を招きます。イスラエルの民のことを考えます。これを考えてください。罪を犯したら、動物をとり、その動物を犠牲にささげねばなりません。それは、彼らの身代わりの罪のない動物で、その動物の血を流させます。つまり、私にとっては、それ自体が抑止力です。待つ。私が罪を犯したら、動物の生贄を用意し、自分の罪の代わりに、身代わりにして、その動物が今、私の罪をなだめ、贖いとなって、私の代わりにその血が流されるの? おお、私にはたくさんの動物がいます。皆さんもです。霊的に私を見ないでください。何が言いたいかわかりますか? イエスは言われました。

「わたしは一度きりのささげものです。完了した。」なぜあなたは、そこまでして戦うのですか? あなたは有罪です。あなたは有罪です。あなたは罪の申し立てで、罰則に値します。そしてその罰則は、死の罰則です。あなたがそこに行くやいなや、わたしはその罰則を取り贖罪します。ここで、私たちは戦い、蹴り、嘔みつき、引っ掻いたりして、いろいろ試みます。でもそれは罪です。そう呼びたくない。先週もお話しましたが、今週もまた繰り返します。姦淫(不倫)の罪に関しては、これ以上ないほど顕著です。「そう呼びたくない。それは本当に悪く聞こえる。」そうですね。わかります。それを「出来事」と呼びましょう。おお、主はこんな感じで、「わたしはあなたのために何もできません。」それがほんの『出来事』だって? わお、それはとても円満な、口当たりの良い、従順な響きですね。お〜、ただの「出来事」ですか? それなら、こんなこと必要ないですね。違います。それは「出来事」ではありません。「罪」です。罪と呼んでください。



罪としてそれを告白して下さい。なぜなら、主は準備万端でお待ちだからです。なぜなら、主がすでにそのために支払われたからです。あなたは何を待ってるんですか？ その罪を主のみもとに持って行って下さい。主があなたのために対処して下さいます。主はすでにそれを支払われました。想像して下さい。あなたがとても裕福な財産の相続人で、その受益者となります。しかし、それには前提条件があり、その条件は揃っていません。私たちは、それがあつことは知つていても、それを活用しません。どれだけ滑稽ですか？ おお、その文脈でその比較をすると、不条理に聞こえますね。「罪」と「永遠の命」となると、なおさらでしょう？ 金銭について話しています。これだけ自由に使えるのに、私はそれを活用していない？

「はい、でもそれは一時的でしょ。」私はここで「永遠」について話しています。これがあなたのために用意されています。聖霊に導かれヨハネがいかにも注意深く語るかに注目ください。

「私たちの罪だけでなく、世全体の罪」(1ヨハネ2：2参照)

それは、十分なささげものであり、その贖罪は満たされ、天の裁きをなだめられました。で、あなたはまだそこに立つて無罪を主張したいのですか？ ひゅ〜!またね。あなたみたいになりたくないわ。なぜなら、今、あなたは自分の力と自分の義で立っているから。あなたの義が完璧を超えない限り、それは、絶対にありえません。チャンスはありません。ここにずっと、世の罪の贖いとなられた世の救い主がおられます。

あなたは、「いえ、大丈夫です。ありがとうございます。その想いに感謝します。分かりました。私は天の裁きの前に立つて、無罪を申し立てます。」

私にはそれがどう効果があるのかわかりません。実際、神の御言葉の権威に基づき保証します。あなたにとって良い結果ではありません。あなたにとって良い結末にはなりません。OK。ここまで大丈夫ですか？ 私は大丈夫ですか？ 皆さんが大丈夫なら、私も大丈夫です。

このことを見事に言い当てている見事な例えをご紹介します。こんな感じです。

『まるで、私たちが天の法廷で被告人となり、父なる神という正しい裁判官の御前に立っているようなものだ。弁護人が告訴に立ち上がる。

「彼は完全に有罪です、裁判官。実際、彼は非難されることよりもっとひどいことをしました。そして今、あなたの御前に完全な告白をします。」...あなたはそこで、「何だつて？」...小槌が打ち鳴らされ、裁判官が問う。「彼の判決はどうするべきか？」弁護人はこう答える。

「その判決は死刑です。彼はこの義の裁判の完全な怒りに値します。」...「あなたはどちら側ですか？何だつて？検察側？それとも弁護側ですか？」

...私たちの告発者であるサタンは、ずっとこれを楽しんでいる。「私たちは有罪です！ 私たちは自分の罪を認めます！」私たちは罰則を認めたそのとき、私たちの弁護人が裁判官へ近づく。裁判官に近づく、主はただこう言われる。

「御父よ、これを引き受けました。この人物は、わたしの者です。わたしが代価を支払います。わたしがこの裁きから、彼に値する怒りと罰則を受けました。」再び小槌が鳴り、裁判官が叫ぶ。

「有罪確定！懲罰完済！」告発者が発狂し始める。...告発者が誰かわかりますね。サタンは兄弟たちの告発者です。サタンは気が狂いそうです。良いですね。

...「執行猶予もないのですか？」「なし！」裁判官が叫ぶ。「罰則は、わが息子が完全に支払つた。執行猶予にすることは何もない。」そして、裁判官は私たちの弁護人に向かい、こう言われる。

「息子よ、あなたはこの者があなたのものであると言った。この者をあなたの元に返す。一件落着！」「ほー！私のために？」「そうです。」「おお、主よ！それがその意味なんですか？私の問題は何でしたか？なぜ私は躊躇するのか？どうりで、あなたは私の有罪を論じられたのですね。私の有罪を取って下さるために。おお、主よ。」

再度、私を含め、私たち全員に質問を投げかけたいと思います、よく考えて答えるべきだと思います。神が私たちの罪をどう扱われるかの理解で、あなたの罪に対する姿勢は大きく変わりますか？私は冒頭で、私たちは、自分の罪、罪への取り組み、罪に対する姿勢を本当に理解していないと主張しました。私たちは、いつもそれを低く、柔らかくし、少しでも見栄え良くなるように努力します。ところで、私たちが大体することは他人の人生にある罪を、自分の人生にはないつもりでいます。では、これをご覧下さい。私たちの罪はいつも、自分よりも他の誰かの方が悪く見えます。「梁」と「塵」を考えて下さい。イエスがそのたとえを教えられる時、原文では同じ語源だにご存知ですか？言い換えると、

「まず自分の目から梁を取り除きなさい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取り除くことができます。」(マタイ7：5参照)

そのちりは、あなたの目にある梁から出たものです。

「お互い様。(私を知るためにはあなたが必要だ。)」という表現を聞いたことがありますね。なるほど、あなたの人生で「高ぶり」は、どうすればわかりますか？なぜなら、「高ぶり」がどんな匂いで、どんな見てくれか知っていて、自分の人生の梁としてあなたにそれがあからずからあります。それが、あなたが知る方法です。誰かが言います。

「あなたは高ぶりに満ち溢れている」と。「どうしてわかるの？」自分以外の他人が高ぶりに満ち溢れているとどうしてわかるのですか？「おお、ここにいる兄弟姉妹の誰それ、あなたには高ぶりのちりがある。助けてあげよう。」「いいえ！私から離れなさい。その高ぶりという大きな梁があなたの目の中にあるのに、どうやって見えるのですか？」

あなたは…ところで、目はとても敏感です。

「すみません、あなたは私の目から高ぶりのちりを取り除こうとしますけど。あなたには…」私の家内は、イエスのこの特別な御教えを楽しみすぎます。彼女はそれをドラマチックに表現し本当にうまいんです。もちろん、私と結婚したのでそうならざるを得ませんが。結婚して間もない頃、話をしていたら、突然、彼女がこうしたんです。－(笑)－私は「何してるんだ？」と。彼女は言いました。「おお、あなたの目の中にある梁が当たるところだったわ。」と。－(笑)－私は「マジ？ウォ～！」これが何を物語っているかわかりますか？それは、私たちがどのように罪に近づくか悲しいけれども本当の現実を物語ります。おお、私たちはすぐに他人の罪を指摘しがります。

「あなたのために祈ります。あなたの高ぶりのために、兄弟よ。」－(笑)－

ああ、上手にやりすぎましたね。－(笑)－私には高ぶりの博士号があるからです。私は専門家です。高ぶりに関してはプロです。高ぶりについてプロで、私の高ぶりには謙虚です。－(笑)－私は謙虚さを高ぶります。聞いてくれれば話しますよ。今は主と共にある牧師の話の思い出します。おお、この人は、何と牧師の心があるのでしょうか。ある日の説教の後、誰かが彼のところにきて言いました、

「兄弟よ、あなたは高ぶりでいっぱいだ！」それに対して、彼はこう答えました、  
「おお、あなたはその半分も知りませんよ。」おお、それは予想外でした。そう、この人物はわかっている人です。なんと怒りを鎮めるのでしょうか。すみません。これだけで言わせて下さいね。この後もう1つあるかも。でも、これを言わせて下さい。誰かにそう言われると、、、私は決してそのように答えません。

「JD 牧師、あなたは高ぶりでいっぱいです。」私はとても敬虔で謙虚なので、私の反応はこうなります。「私が???あなたはどうなんだ？」それは、戦うための言葉です。私たちはこれをします。袖をまくり上げて、向かっていきます。やさしい答えは、怒りを遠ざけます。

「そうですね、兄弟。あなたは正しいです。私は高ぶりでいっぱいです。あなたにはわかりません。私のため祈って下さい。私は高ぶりでいっぱいです。私は高ぶった人間で、自分の高ぶりを憎んでいます。神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられるからです。」

**(ヤコブ4:6、1ペテロ5:5)**

では、締めくくりましょう。着陸できる滑走路をどこかに見つけねばなりません。差し支えなければ、個人的な話をします。私は自分の人生においてこれは人生のあらゆる領域で、父親、夫、牧師として見られます。自分がみじめな罪びとだと自覚する所にたどり着くやいなや、「おお、私はみじめな人間だ。」 その方が良いのです。もっと早くしておけばよかったと後悔するとき、いつもそれが良い決断だとわかります。罪についてもそういう事例です。お～願わくは、私たちは罪を持って、自分の罪が支払われた十字架に、すぐに行きますように。自分を防御するのはやめてください。あなたはあまり良い仕事をするにはなりませんよ。自分を防御するのはやめてください。あなたは有罪です。私たちは皆、有罪です。

「(私たち) すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができません。」(ローマ3:23 参照)

自分の立場をわきまえず、自分の防衛を主張する。「ああ、でもそんなに悪くなかった。」いいえ、悪かったです。あなたは、それがそのまま、罪であってほしいのです。なぜなら、あなたがそうしない限り/そうするまで、神はあなたの罪をご覧になるからです。あなたは御子を受け入れた方がいい。主はあなたのとりなしてくださる方です。あなたの罪の贖いです。あなたの罪の償いをされました。早ければ早いほど良いのです。理由は、あなたがそうするやいなや、神はあなたの罪をご覧にならないからです。想像してください。想像しにくいですよ。神は私たちの罪を見られず、御子を見られます。神は私たちの罪を覚えられません。

「東が西から遠く離れているように主は 私たちの背きの罪を私たちから遠く離され 思い出されない。」(詩篇 103:12 参照)

「あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。」(イザヤ1:18 参照)  
行きましょう！ 韻を踏んでいるので、つい入れてしまいました。そうすると、ちょっとだけ、いや、かなり変わってきますよね？ 再度、奮闘/葛藤の連続です。なぜなら、私たちの肉において、パウロが言ったように、私の肉においては、私の肉のうちに住んでいるものは、徹頭徹尾みじめで腐っています。「自分のうちに善が住んでいない。」(ローマ 7:18 参照) 私たちは言います。「彼らは良い人だ。」良い人かもしれないけど、決して十分ではありません。「おお、彼らは良心がある。」実は、エレミヤはこう言っています。

「人の心は何よりもねじ曲がっている。それは癒やし（修復し）がたい。」（エレミヤ17：9 参照）

知らないうちにとってもねじ曲がっています。あなたは自分自身の心がわからない。神はあなたの心をご存知です。神はあなたの心をご覧になります。私たちは外見しか見ていません。いいえ、私たちははじめです。私たちは罪びとです。ですから、その罪を持って、救い主のみもとへ行きましょう。あなたは有罪です。すでに有罪確定で、死刑が宣告されています。ですから、あなたは否定したり、頭を砂に埋めたり、避けてみたりしますが、避けられそうもありません。はい、実行されなければなりません。判決は実行されねばなりません。イエスはその判決が実行されるのを待っておられます。

求めるためにあるのです。

「自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。」（ヤコブ4：2）

最後に1つ。最後の1つと言いましたっけ？「最後の1つ」とは言ってませんね。私がお願いしましたから、私に与えねばならないこれが最後の1つです。私の結婚についての例を挙げましょう。私は自分の例え、個人的な例えでは、決して自分をヒーローにしません。本当にそうとは言えません。かつてはそうしました。神は、私を逃がされませんでした。私はいつも悪役で、どれについても加害者です。（笑）結婚当初は、私は高ぶりいっぱい、偽善的でした。

「おお～、私は正しい。彼女が間違っている。」にらみ合いでした。私は祈ろう。おお～祈ろう。

「神よ、彼女に見せてください。私に対する彼女の罪を。」はい、神がその祈りを聞いておられるかのように？

「そして神よ、彼女を私のところに来させ、謝らせてください。」何日過ぎても彼女は来ない。

—（笑）— ではもう一度。「神よ！」「JD、やめなさい。やめなさい。あなたがその人です。『あなたがその男です。ダビデ/JD よ。』」（II サムエル12：7 参照）

聖霊の型であるナタンは、どうです？ ダビデにこの事件を示し、裁かせます。おお、ダビデはすぐに判決を出します。彼は激昂します。

「彼は賠償、返還をする必要があり、この男は死刑判決を受け、その刑が執行される必要がある。」

ナタンは「ダビデ、あなたがその男です。」と。ダビデはどうしますか？ 9カ月、10カ月ほど前にしておくべきだったことです。

顔を伏して、「私は罪を犯しました。私は罪を犯しました。」それはその時までありませんでした。

「詩篇」で、いかにダビデの内面が死んでいるかを垣間見れます。彼の骨は乾き、主との関係は... イスラエルの甘美な詩人として彼にかつてあった親密さは、消えました。ありません。

そして、彼の中は死に、渴ききっていました。彼は顔を伏します。そして、興味深いことに、ダビデがそうするやいなや、ナタンが言います。

「神はあなたの罪を赦されました。」（II サムエル 12：13 参照）

わお！ それを知っていれば.....つまり、私はそうする必要はなかった...あなたはなんとなく怒って、その怒りという罪を犯し、考えます。眠れない夜、苦悩と苦痛の涙でベッドを濡らし夜中起きている必要はなかった。罪の罪悪感に押しつぶされて、死にそうになっていたあの時間を過ごす必要はなかった。私がすべきすべては、赦しのために、主のみもとに来ることだった？

そうです。「なぜもっと早くそうしなかったのか？」「わからない。なぜしなかった？」少なくとも

も今できました。あなたは赦されました。主があなただの罪を取り除いてくださいました。当時、姦淫と殺人の刑罰が何だったかご存知ですか？ 死です。 死：死刑になるものでした。

それは、死刑でした。姦淫.....それはまた抑止力と呼びますね？ 姦淫と殺人は、死刑です。極めて重大な刑罰です。ナタンは言いました。「神はそれを取り去られました。」

何が興味深いかというと、ダビデは余生で、決して2度とその罪を繰り返すことはありませんでした。わ〜お！ これくらいにして締めくくります。このまま、今のうちに辞めておきます。

カポノ、上がって来て下さい。皆さん、ご起立ください。私の願いは、聖霊の助けによって、私たちは皆、また私も含めて、罪の捉え方が違いますので、私たちの罪を、その罪を償われた救い主のレンズを通して私たちが見ますように。自分を防御するのはやめましょう。あなたは有罪です。十字架に行ってください。すでに支払われました。満たされました。

神の怒りは鎮まりました。

**「こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。」  
(ローマ8：1)**

**「子があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。」(ヨハネ8：36)**

お父様、ありがとうございます。ありがとうございます。感謝します。主よ、この2つの節には、私たちのために、多くのことがあり、今あなたが取り上げ、主よ、この2つの節には、私たちのために、多くのことがあり、今あなたが取り上げ、内住される聖霊とともに、私たちの人生でこれを実現するプロセスを開始下さいますように。それは、私たちがここを離れ一日や一週間を過ごす単なる他の説教や日曜日ではありません。私たちは、ヤコブが言ったように、鏡に映った完全な律法をただ見て、何もしないで立ち去るような者で、単に神の言葉を聴くだけの者ではなく、私たちは行う者になりたいのです。(ヤコブ1:23-25参照)

主よ、あなたは、あなたの恵みによって、あなたの慈悲において、あなたの愛のおかげで、このすべてを引き受けて下さいます。私たちが望んで、あなたのみもとに行くなら。主よ、ここにいる人、オンラインで見ている人の中で、罪の重荷、罪悪感を背負っている人のために祈ります。主よ、私たちのすべてがあなたのみもとに来るようにと祈ります。

なぜなら、あなたのくびきは負いやすく、あなたの荷は軽いからです。私たちのたましいに安らぎをくださいます。(マタイ11:28-30参照)

主よ、私たちは 罪を贖い私たちをとりなしてください方あなたとくびきを共にしたいのです。イエスよ、感謝します。私たちのすべての罪の罰則を引き受けてくださったことを感謝します。私たちはあなたを本当に愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7